

# NEWS RELEASE

2018.7.25

## 絵画における「光と影」を追求 宮本佳美「消滅からの形成」

2018年9月7日(金)から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、京都を拠点に国内外で活躍する宮本佳美の展覧会「消滅からの形成」を2018年9月7日(金)から9月24日(月・祝)まで開催致します。

絵画における「光と影」を追求する画家 宮本佳美は、あらゆる色彩の水彩絵具を混ぜ合わせた「黒ならぬ黒」というモノトーンの世界を繊細な綿布の上に表現しています。まるで光を操るように、丹念に、そしてストイックに「白」をハイライトに用いることで、白黒の絵画は研ぎすまされた佇まいを見せています。

五島記念文化賞の受賞をきっかけにオランダへ海外研修に渡った宮本氏は、17世紀のオランダ絵画における光「ダッチライト」に代わる現代の光の表現を追求するため、写真など光学的な技術も手段としながら、絵画という文脈において「光と影」というテーマに挑み続けています。

本展では、描く対象の植物そのものを白くペイントすることで、彫刻的な陰影を描き出した大作をはじめ、オランダ滞在中に感銘を受けた彫刻作品をモチーフに描いた作品など、新作を中心に約10点 発表します。

尚、会期中には土方明司氏(平塚市美術館館長代理、武蔵野美術大学客員教授)によるトークイベントを開催予定です。詳細は後日ホームページにてご案内します。

### || 展覧会概要 ||

展覧会名：宮本佳美「消滅からの形成」

会 期：2018年9月7日(金) - 9月24日(月・祝) [18日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座 1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

主 催：株式会社ポーラ・オルビス ホールディングス

助 成：公益財団法人 五島記念文化財団

協 力：イムラアートギャラリー

U R L：<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室  
[info-annex@po-holdings.co.jp](mailto:info-annex@po-holdings.co.jp) TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

**POLA MUSEUM ANNEX**

## || 作家コメント ||

オランダで研修を終えてから 2 年後再びオランダを訪れた。

オランダの光は強くて白い。  
日本の新緑とは異なる薄い緑が広がる。

Dutch Light を探して歩き回った 2 年前、  
17 世紀オランダ絵画に見られる様な光は人間による環境破壊、空気汚染による為  
その当時の光は消滅したと結論付けた。  
私は、なすすべも無くオランダの空を見つめていた。

しかし、儚く消えゆく今見える光、今有る命に執着心を強めて臨んだ今回の訪蘭は  
オランダの強い風、急変する天気と光と戦う中で、必死にモチーフの花から光と影を拾った。  
探していたものをようやく見つけ出した様に思った。

儚く無くなるものをどれだけ力のあるものとして残すか、  
それは私にとって光と影の探求をし、絵に描き出した先にいつもあります。

## || プロフィール ||

宮本佳美 (みやもと よしみ)

1981 福岡県生まれ  
2005 京都嵯峨芸術大学付属芸術文化研究所研究生修了  
2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻修了  
2014 第 25 回 五島記念文化賞 美術新人賞  
主な個展  
2010 「immortal plant」イムラアートギャラリー (京都)  
2014 「Canon」イムラアートギャラリー (東京)  
2016 「宮本佳美個展」イムラアートギャラリー(京都)

主なグループ展  
2012 「現代美術の展望 VOCA 展 2012 -新しい平面の作家たち-」  
上野の森美術館 (東京)  
2013 「水彩画 みづ糸の魅力ー明治から現代までー」  
平塚市美術館 (神奈川)  
2017 「ニッポンの写実 そっくりの魔力」  
北海道立函館美術館 (北海道)、豊橋市美術博物館 (愛知)  
奈良県立美術館 (奈良)



### (五島記念文化財団と五島記念文化賞)

五島記念文化財団は、豊かな生活環境の創造に力を尽くした、故・五島昇東急グループ代表の業績を記念するために設立されました。美術とオペラの分野で将来性のある優秀な新人を「五島記念文化賞」(美術新人賞、オペラ新人賞)として顕彰し、海外研修および研修終了後の成果発表への資金面の助成を行っています。なお本展は、海外研修終了後の成果発表として助成を受けています。

1 ページ目 (左) : 「summer」綿布に水彩、アクリル / 30×40cm / 2015 年  
1 ページ目 (右) : 「flash over」綿布に水彩、アクリル / 40×40cm / 2015 年  
2 ページ目 : 「Everlasting truth」綿布に水彩、アクリル / 193.9×112.1cm / 2017 年